

今年も慰霊碑清掃・慰霊行事を行いました！！

隊友会東播支部石田真一支部長以下22名の会員は今年も青野原演習場内の慰霊碑清掃と慰霊行事を行いました。連日の猛暑続いており当日も過酷な高温が予想されるため、草刈り機持参加者については朝5時過ぎから青野ヶ原演習場南廠舎近傍の慰霊碑周りの除草を開始されました。幸い当日の午前中は曇り空の天候となり、厳しい日差しが影を潜めており絶好の作業日和となりました。

慰霊碑周りの清掃を行う会員達



殉職された隊員への慰霊



桑原 博 理事役 表彰状伝達



朝7時前には2か所の慰霊碑周りの清掃を終了し、慰霊碑の埃を払ってお花を飾り焼香を準備して慰霊を行って終了となりました。

終了後に慰霊前に集合し、今年、兵庫県隊友会 小川会長からの表彰受賞者である桑原理事役に支部長から表彰状の伝達をしていただきました。

慰霊碑清掃終了後の集合写真



その後、22名の会員は、加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地に移動し、鶉野平和祈念の碑苑保存会の皆様と合流し、元々平和祈念の碑を建立していた場所の除草・藤棚の木の伐採等の作業支援を行いました。特に保存会の皆様は高齢化が進み、簡単な作業においても重労働であると聞いているため、長年お付合いをさせていただいている隊友会東播支部が支援していきましようということで共同作業をしています。

加西市は海軍航空隊の戦争遺跡として鶉野飛行場跡地を観光名所として宣伝しており、保存会が建立した祈念碑についても市が移設し、紫電改の原型模型を展示している建物周りを観光の中心部として充実させ、「s o r a かさい」としてPRしており連日多数の観光客でにぎわいを見せています。

海軍航空隊鵜野飛行場記念碑での慰霊行事



奉仕作業終了後の参加者による集合写真



ここ数年は、猛暑が続きこの時期の清掃作業実施は非常に過酷であるため、時期をずらして行うことも検討するべきではないかと意見も出されており、来年度の実施時期を役員で審議していく予定です。

最後に、現在建立されている平和祈念の碑に手を合わせ、今の日本があるのは命を賭して戦った若い戦士のお陰であり、その尊い犠牲に対して毎年哀悼の意を捧げることは「忘れない、同じ過ちを繰り返さない」という気持ちを隊友会会員だけでも強く持ち続けることが大切であると思いつつ、慰霊して終了しました。

事務局長 細貝 寛徳